

# ふれあい通信



長南町長  
平野 貞夫

とうとう人口が8千人を割り込み、7千人台に入ってきてしまいました。4月1日現在の住民基本台帳上の人口は、7,979人ですが、常住人口は約7,600人であり、これは国勢調査に近い数値であると思っています。

このまま人口減少が進むと、20年後には3千人台にまで落ち込んでしまうことになり、65歳の広大な行政区域に3,000人余の人口は、想像をはるかに超えた町がそこに存在することになるかもしれません。

人口減少対策としてこれまで、小学校の統合をはじめ、跡地活用による雇用の創出や交流人口の増加、子育て支援の充実、若者の定住促進、公共交通網の整備など、様々な事業に取り組んでまいりました。今後も観光振興や企業誘致を進める中で、交流人口や定住人口の増加を図っていきたいと思っています。

ですが、その効果はすぐに表れるものではありません。私は、何よりも町民の皆さま

が健康で長寿であることが一番大事なことだと思っています。一人でも多くの皆さまに健康に関心を持っていただき、健康増進に向けて活動してほしいと願っています。

その動機付けとして、今年度から「ちょな丸ポイント事業」を始めることとしました。毎日のウォーキングや町の検診など、健康につながる活動に参加することによってポイントが付与され、そのポイントをカードと交換できるといったものです。また、東京家政大学との連携協力の中で、新たに壮年期の方々を対象とする「健康体力調査」などを行い、健康寿命の延伸や介護予防のための交流事業を実施することとされています。多くの皆さまに参加していただければと思っています。

今後も「誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり」に一層努めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

